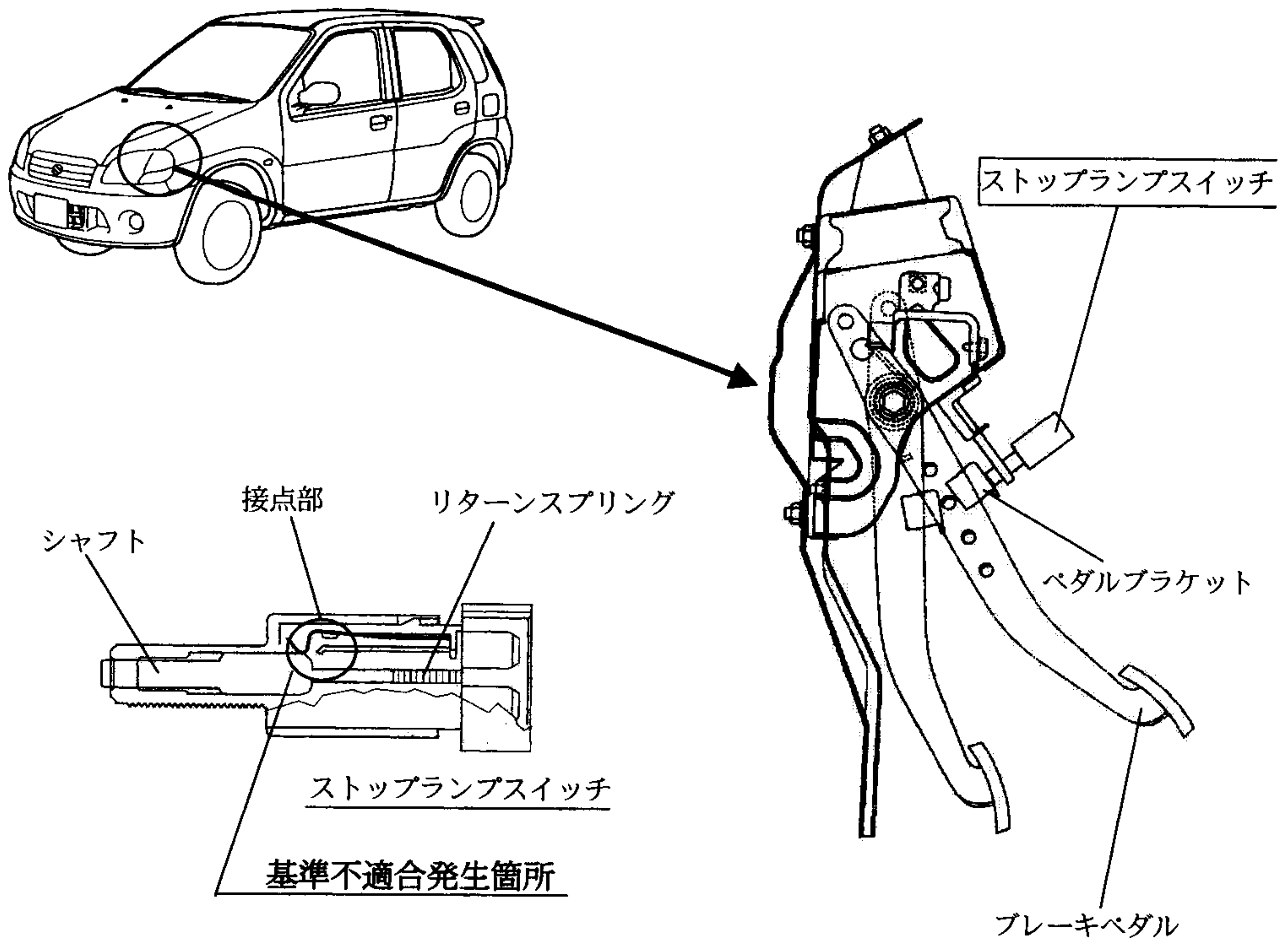


改善箇所説明図



自動変速機付車のストップランプスイッチにおいて、当該スイッチの製造方法が不適切なため、ペダルブラケットに塗布されたグリース及びリターンスプリングに塗布してある防錆油が、当該スイッチ内部に侵入して炭化することにより、電気抵抗が大きくなるものがあり、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、発熱によりシャフトが変形してスイッチが作動しなくなり、シフトロック機能が解除できなくなるとともに制動灯が点灯しなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ペダルブラケットに塗布されたグリースを拭き取るとともに当該スイッチを対策品と交換する。

識別：タイヤインフォメーションブラカードの下部に黒色のシールを貼付する。

注： は交換部品を示す。